

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム朝生田の里

(ユニット名) 2F

記入者(管理者)
氏名 三橋 幸江

評価完了日 平成20年6月25日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域密着、自立支援、尊厳の保持の三本柱を理念とし、分かり易く明文化し廊下に掲示している。		
			(外部評価)		
			事業所では、「地域密着」の大切さを感じられ、昨年、「尊厳の保持」「自立支援」とともに「地域との密着」を理念に揚げられた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			掲げている理念は共有されスタッフのひとりひとりの実践の中で自然に現れている。		
			(外部評価)		
			ミーティング毎に、理念にもとづき話し合っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族には入居時に理念の説明、毎月の請求書送付の際、地域への行事参加の様子や普段の暮らしぶりなどをお知らせしている。 地域へは運営推進会議を開き地元の方に参加して頂き理念に基づく生活ぶりをみて頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) お花見、運動会、夏祭り、盆踊り大会等の行事に積極的に利用者とスタッフが参加し交流している。散歩の際や出勤、退勤時にもご近所さんに挨拶など交わっている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 風通しの良い事業所として地域との交流を図っている。出来るだけ地域の活動に参加するよう努めている。 (外部評価) 地域の盆踊りや近隣施設の文化祭等に参加されている。又、事業所主催の夏祭りには地域の方も来られ、一緒に楽しまれている。		事業所では、さらに地域の方達に事業所のことを知っていただきたいと考えておられる。今夏の夏祭りには、ボランティアの受け入れ等も検討されている。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を利用し地域の方たちの認知症や介護についての相談に応じている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 過去の評価を見直し、不備な点があれば改善し対策をミーティングやミニカンファレンス等で考え、スタッフ全員で改善に取り組んでいる。 (外部評価) 前回の評価結果を受けて、利用者個々のさらなる思いの把握に向けて、センター方式の書式を採り入れられた。今回の自己評価は、職員全員で取り組まれた。管理者は、職員個々の考え方等も分かり、介護への意識の足並みが揃った部分も多々あると話されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			評価の内容、改善点の取組状況等を随時会議で報告。 ご意見等を頂きながら更に改善を目指している。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(外部評価)		
			会議には民生委員の方、近隣者の出席もあり、公民館 で行われているサロンに参加してみてもどうかという 意見もいただいたり、地域の夏祭りの盆踊りに参加す るために、地域の方とともに練習をすることとなっ た。又、会議では回覧板を回していただけるようお願い をされた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			市が開催する事業や会には必ず誰かが参加し情報を持 ち帰り報告している。その中でサービスの向上となる ものを取り組み、より良いものに組み立てなおし、質 の向上に活かしている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(外部評価)		
			市の担当者の方にも夏祭りに参加いただいた。又、運 営推進会議時に、外部評価の意義について「ご家族の 安心と新しい気付きのために取り組むもの」という説 明をいただいた。		
			(自己評価)		
			個々が学習会や研修に積極的に誘い合って参加し、 ミーティング等で情報を共有している。利用者に対象 となる方、必要とされる方がいれば活用、支援できる 体制はある。		
			(自己評価)		
			施設長はもちろんスタッフのひとりひとりが学び職場 で何が虐待に当たるかを周知し、言動においてもス タッフ間で確認と防止に共に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 施設長が必ず十分な説明の上、理解・納得頂いている。問題・疑問が発生した場合は施設長に即報告し、対応と解決に向けての話し合いがされている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 各階にご意見箱を設置している。直接、施設長・管理者・スタッフに意見や希望を話しやすい雰囲気心がけ、自由に発言されている。発言や意見は必ず、細かく小さい事も施設長まで報告され、納得いく解決へ返答がなされている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 書類により規定通り、管理報告している(同意書、金銭管理帳)。暮らしぶり、健康状態についても、朝生田の里新聞を面会時や郵送などで報告・周知して頂いている。健康状態に変化がある時は主治医より詳しく説明して頂いている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご意見箱を利用して頂いている。職員が随時受け付け、管理者、施設長に報告連絡相談している。外部者へ相談される機会は運営推進会議の場になるが今のところ事例は無い。		(外部評価) 行事や外食時に、ご家族同士が交流されている。
					事業所では、頻繁に顔を合わせるご家族とは、関係作りができているが、遠方にお住まいのご家族は、意見等が言いにくいのかもしねないと感じておられる。ご家族のご事情も踏まえながら、意見を引き出せるような取り組みの工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月1回のミーティングの際に全員のスタッフで話し合っている。早期解決の必要な場合は、その都度施設長がスタッフより事情を聴取し適切な解決に向けて話し合い解決している。		新人の小さな気づきや、なぜという疑問を話しやすい職場の雰囲気工夫。理解に向け統一された業務にするため、ひとりひとりの意見を受け止める・解決する体制を充実させる。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 施設長が緊急時や状況により、スタッフの状況を把握し、スタッフ間でも協力し、話し合いと了解を得た上で調整している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 施設長や管理者が十分に説明し、なじみの関係が保たれる配慮を心がけ、スタッフ全員でサポートしあえている。 異動は1.2F間のため異動後も顔出しをするなど配慮している		
			(外部評価) 2ユニット全体で行き来されており、職員と利用者が顔馴染みになっている。職員同士の交流もあり、施設長や管理者が職員の悩み等を聞き取っておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 資格取得、研修会への参加、内部勉強会を推奨し評価対象にしている。 新人にはマニュアルを元に研修担当者を定めOJTも交えた育成を実施		
			(外部評価) 外部研修を受講した職員は、ミーティング後の勉強会で報告されている。母体法人の看護師による救命救急の研修等に参加しておられる。又、グループホームの全国大会で「透析医療とグループホーム～障害を抱えてもなお生き生きと」という題で実践発表をされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 各連絡協議会、講演会、学習会に積極的に参加し、ネットワークを広げ、情報交換し、相互訪問も頻繁にし、サービスの向上を目指し実践している。		
			(外部評価) 十数件のグループホーム事業所等が集まる勉強会に職員もともに参加し、交流を図っておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) スタッフのいつもの表情を把握している。変だなと感じたときは、ささいな事でも施設長に報告し、原因や環境の改善の為、話を聞いている。		ケアする側のケアの体制。フロアにより介護労力の格差を公平にする対策。年齢、経験、資格による理解度の格差を少しづつ無くしていく試みを継続していきたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 様々な実践に役立つ研修会の情報が入り、参加しやすい体制を取っている。個々がレベルアップでき、前向きに仕事ができているか等、職員が働きやすい職場作りに努め、協力しあっている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 話しやすいなじみの関係と、ゆとりある対応、何に困っているか・不安なこと・何を望んでいるか、話しやすい人間関係が持てるように声掛け、受け止め、ひとつひとつの問題を共有し受け止める努力をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 通院時・入院時は、婦長や事務長、居宅支援事業所のケアマネが相談窓口になっていて対応し、理解を深めて納得いくまで話し合っている。何を疑問に思っているか・何を希望しているか、真意を受け止め、信頼関係の構築に努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) アセスメントシートを活用し、今何を求めているかを本人や家族の言葉で聞き取り、何を優先すべきかを施設内で課題を明確化し、最適な対応策を打ち出し、実践している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) グループホームを実際目で見て頂き、入居者の話も聞いて頂く。見学も気軽にでき、レクやおやつにも参加して頂いている。アセスメントや家族からの情報を元にケアカンファレンス等で、スタッフの理解を深め、施設での生活にできるだけ、早く馴染めるような、安心して頂ける環境作りに努めている。 (外部評価) 以前から母体病院を受診されていた方の入居が多く、顔馴染みの方もおられるが、事前に事業所で一緒に過ごしていただく等、雰囲気を感じていただくようにされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) スタッフは個々の利用者の生活歴・趣味・特技・性格等を把握し、生活の中でそれらを活かせるケアを行い、人生の先輩としての利用者から学び、ゆったりとした雰囲気の中で喜怒哀楽を共有し、信頼関係を築こうとしている。 (外部評価) 裁縫の得意な方が、他の利用者の方のズボンの裾の縫いをしてくださったり、袋やクッションを作って皆さんにプレゼントをされる方もいる。時に、利用者から料理を教えてもらうこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の状況に合わせながら、利用者が安心できるよう、スタッフだけでなく、家族・友人の方々にも利用者を支えていく関係の構築に努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 今まで通りの関係がうまく継続できるよう支援し、疎遠にならない様参加を根気強く呼びかけている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 施設入居したことで疎遠にならないよう、利用者側からも、友人・近所・家族への通信手段を支援し、馴染みの関係が維持できるよう心がけている。利用者が自由に関係を継続できる環境作りや会話に努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 趣味や歩まれた環境などに応じて、スタッフがきっかけ作りをし、仲を取り持つこともある。利用者がプライバシーを保ちながら、仲間意識を持って、会話に参加できる雰囲気作りをスタッフは心がけている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) いつでも相談に応じる気持ちを伝えている。退去後も電話や手紙(はがき)を通じ交流している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			本人の暮らし方、意向、希望、意見を日々の関わりの中からお聞きし把握し、個々の希望に沿える様に努めている。		
			(外部評価)		
			介護度が重度で意思表示が難しい方は、日々のかかわりの中での小さな表情の変化も見逃さないように努めておられる。又、ご家族とともに「本人だったらどう思うだろう」と考えながら検討されている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			生活背景、環境等、アセスメントを理解し日々の会話の中からも少しずつ手繰るようにそれまでの暮らしぶりなどをお聞きしている。センター方式も使いケアに活用している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			ミニカンファレンス・モニタリング・ケアプラン等の記録を共有し、スタッフ間の情報交換も日々行い記録に残して総合的な把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			日々の暮らし、会話の中から課題を見つけ、それに適した計画作成のために本人、家族、Dr.PT.スタッフで、よく話し合い、情報を共有し、様々な角度から検討している。		
			(外部評価)		
			車椅子を利用されていた方が「歩けるようになりたい」という希望を強く持たれており、ご家族、主治医、職員で話し合い、介護計画に採り入れ取り組まれた。ご本人は状態が良くなり、散歩ができるようになったという事例がある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			ケアプランは最長で3ヶ月に1度見直している。状況やADLの急変時は、随時検討、本人家族、医師等と話し合いの上意向に沿った新たな介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			定期的な見直しの他に、退院時等、身体面・意欲面等に变化がある場合には計画を見直すようにされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別の記録は1日の様子、ケース記録等にもれなく行い、スタッフの直感・客観的気づきの記録も大切にしている。カンファレンスや日々の引継ぎの中で情報の共有もしており、それらをケアやケアプランに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			医療連携体制を活かし連携を密にして状況や要望に応じて主治医・PT・管理栄養士・看護師による個別の対応も行い、極力慣れ親しんだホーム内で治療や終末期を迎えられるようにしている。		
			(外部評価)		
			透析治療を必要とする利用者を受け入れておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員、ボランティア、消防士はとれている。利用者の必要に応じ、広く警察、教育、文化にも協力を研究会や運営推進会議を通じ要請している。		教育・文化、警察の機関の協力、特に幼・小・中・高・大・専門学校、多種のボランティア団体等との協働を図りたい
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意向や必要があれば、他のケアマネ・事業者との話し合い、他のサービスの利用をできる様に、協力支援の準備はある。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議での交流が定期的にとれている。本人の意向や希望、必要があれば包括支援センターと協働できる。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 定期的な受診や、緊急時かかりつけ医の受診の意向があればバックアップ体制がある。必要に応じ日赤・県立中央病院へ紹介もし、連携医療機関を通じて多数の医療機関との関係も密である。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要があれば、いつでも主治医と連携を取り診断・治療がなされる体制になっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 隣接の提携医療機関看護師との連絡・相談・報告が密に取れる体制になっている。スタッフに看護職員が配置されており、日頃から健康管理等に万全の支援体制をとっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 早期退院にむけ、病院関係者との情報交換や相談に努めている。連携病院とも万全の体制が取れている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 利用者、家族が望めば、見取りを行う体制は十分に出来ており、入所時から状況の変化に合わせた医療、介護の方針を共有している。 (外部評価) 事業所では、終末期を支援することを前提に受け入れておられる。全職員が看取りの方針を共有し、母体病院と協力し合いながら看取りを実践されている。ご家族も居室でともに過ごされることもある。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 介護・看護・医療チームで連携が取れている。ホームでの看取りを多く経験し、重度化、終末期に向けての備えを万全にし、本人、ご家族との話し合いにより意向に沿った支援につなげている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) GH間、医療機関への情報交換は勉強会・研究会で知れたネットワークを利用し、連絡を取り合っている。独自の介護要約・アセスメント等、検討と作成を話し合い、充実していて予測されるダメージを最小限にできるような取り組みをしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>理念に尊厳の保持を掲げ、言葉掛けや対応には十分配慮している。職員は退職後も漏洩することはないようプライバシー保護にかんする契約を交している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>			<p>(自己評価)</p> <p>日常の会話や態度、表情を把握し、言葉だけでなくサインも見落とさない観察や洞察でとスタッフ間の連携で、常に本人が自由に選択でき、自己決定できる様に本人に合わせ納得いくまで支援をしている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人のペースに合わせ、その人らしい暮らしが継続できるよう支援している。本人のしたい事を聞き、買い物や散歩など希望に添えるよう努めている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>全利用者が透析を受けていることもあり、利用者それぞれの体の調子に合わせて支援されている。又、職員は、利用者の意欲等も見ながら働きかけておられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 着替えや衣替えは、本人や家族にも協力して頂き、スタッフが寄り添い鏡に映しながらチェックしたり楽しまれている。理・美容は本人の希望により選択されている。		日中、透析通院でない日もリビングにてパジャマ姿で過ごされ、容姿に無頓着な利用者さんの性格に合わせ、身だしなみを整えていただくための適切方法をスタッフにアドバイスしていく。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) その方ができる事のできるタイミングで楽しい会話と共に参加して頂いている。下膳・配膳・片付け・調理のアドバイスも容器や道具を選別し体調を見ながら協力して頂いている。職員と利用者は同じテーブルで同じものを食べている。 (外部評価) 普段は腎臓病食や糖尿病食でお好きなものも我慢しておられるが、利用者の方々の「生きる意欲に繋がる食の楽しみ」を考慮し、行事や誕生日、外食時にはお好きな物を自由に食べていただくようにされている。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 重篤に陥りやすい疾患（糖尿病・低栄養・貧血・感染症）の入居者さんも本人の希望と主治医・管理栄養士の指示の元できるだけ好みや状況・体調に合ったものを創意工夫している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 疾患により排泄の調節が難しいが、その方の排泄パターンをつかむためチェックシートを活用し、気持ちよく自然な排泄ができる様努力している。汚染時も、プライドを傷つけない様注意し不快な状態を改善して自力で排泄できる様支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 本人の希望に合わせて週3回以上の入浴を提供している。ひとりで入れる方も声かけのタイミングや、体調をみながら自由に楽しんで入れ、清潔を保てる様に支援している。		
			(外部評価) 現在、利用者は、入浴がお好きな方ばかりで、体調等も見ながら希望されるときに入浴できるよう支援されている。介護度が重度で事業所での入浴が困難な方には、母体病院での機械浴を利用されている。手浴等も支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) なるべく薬にたよらず精神的なストレス・運動・物音・保湿、空調にも細かな気配りして安眠や休息ができる様支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 利用者の得意分野を活かせるような多様なレクリエーション、気晴らしを工夫している。オセロ・将棋・料理・カラオケ・園芸等得意な分野で自由に参加して頂き、先生になって頂いたり、少しでも張り合いのある生活が出来るよう支援をしている。		
			(外部評価) 利用者個々が「楽しい人生だった」と思っていただけのような支援したいと職員の方々は話しておられた。「利用者一人ひとりがヒーローになれる日」を作ったり、又、事業所でも楽しむ機会を作り、ご家族も招き、ともに楽しまれている。母の日には男性利用者が女性利用者にプレゼントし、父の日には女性利用者がクッキーを焼いて、バラの花と一緒にプレゼントされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) その人に合わせて管理している。自由に買い物ができるレクリエーション(外出・買い物)の機会もありスタッフが支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			楽しんで外出できる様、天候や本人の希望にあわせて、声かけをタイミングよく行い個々や少人数でも散歩や買い物などに行っている。		
			(外部評価)		
			外出を好まれる方が多く、体調等も見ながら個別に外出を支援されている。又、月1回は、全員で外食に出かけたり、動物園やお花見、演奏会等に出かけておられる。近所への散歩時には、近隣の方が「がんばってらっしゃるね」等と声をかけてくださることが増えてきた。又、ご家族の協力で石手川の土手等に出かける方もいる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			個々のケアプランに基づいて季節折々の変化を肌で感じて頂ける様外出先を支援するために、スタッフが情報を共有し、計画の段階から利用者の希望を取り入れ、公用車を利用の上個別あるいは、全体で要介護度を考慮しながら利用者家族もお誘いして実施している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話は各個人の部屋にあり他の利用者に気兼ね無く送受信できる。手紙、ハガキも代筆を頼まれたり、やり取りが楽しくできる様に工夫もしている。家族に送るハガキ作りをスタッフが協力して作成し、達成感を共に味わったりもしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			笑顔で誰もが来訪しやすい環境づくりに努め、ほぼ毎日だれかしら訪問がある。障害者や小さなお子さんがいらしても退屈しない様支援し、再び楽しく来て頂ける様なきっかけ作りや声かけ、面会場所の環境や居心地の工夫をしている。透析日などで入れ違いのない様に声かけやご協力を頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ひとりひとりが拘束の意味を学習し十分理解しており、点滴や安静が必要な時もスタッフや家族が付き添ったり見守り拘束しないように努めている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間の安全な暮らしを保全する場合以外に居室や玄関に鍵をかけることの弊害をスタッフ全員が理解している。身体的にも精神的にも、社会的にも開かれたグループホームであるように取り組んでいる。 (外部評価) 玄関のドアは開け放され、テラスへの出入り口も鍵はかけず、いつでも外に出られるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 夜間は定期的に巡回して安全確認を行っている。日中はスタッフが声掛けあい、目と耳で個々の状態に合わせて寄り添ったり見守りを行い、所在確認を行っている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) ひとりひとりの状態により、危険なものを無碍に遠ざけるのではなくスタッフが見守り安全に使えるように心がけている。注意の必要な物品、薬品などがどこにあるのかスタッフは確認を取り合い必要な時は先ず話し合い検討予測している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) その人の状態に合わせて見守りを行っているが、転倒や誤薬などのインシデントはある。状況に合せ、考えられる予測と危機管理と解決策を全員で検討、実施し事故防止に対し積極的に取り組んでいる。		インシデント報告等を今後のケアに活かしていく必要がある。事故防止対策委員会により継続した予防を働きかけている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) スタッフは、研修に参加して知識を学び、ひとりひとりの状態に応じた予測が出来るように事故防止及び急変、事故発生時の書記対応訓練を実施している。		イザという時に備えて看護師以外のスタッフでも有効な処置が行えるように、応急手当、初期対応訓練を継続的に行って行きたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回防災避難訓練を利用者さんにも参加して行っており消防署にも協力して頂いて啓蒙している。運営推進会議でご近所さんや民生委員との連携をとっており、昼夜を問わず助け合いの必要を自覚している。 (外部評価) 年2回、消防署の指導のもと、階段の上り下りが可能な利用者と一緒に避難訓練を行っておられる。近隣の方には「すぐに駆けつけるよ」と言っていただき、職員も管理者も心強く感じておられる。		事業所では、今後、夜間を想定した避難訓練を実施したいと考えておられる。さらに、協力いただける地域の方を増やし、地域の方達と相互に協力し合える体制を作っていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 個々に起こりうるリスク(転倒・誤嚥・外傷・感染症など)の可能性を常に家族と話し合える信頼関係があり回避できる対策も話し合い相互が協力関係にある。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 個々の日常の状態を把握していて、体調の変化は注意して観察し、早期発見に努め主治医と情報交換を口答やノートで密に行っている。異常を発見した時は昼夜を問わず速やかに報告・連絡・相談し対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人のお薬ノートを活用し、スタッフはそれぞれ今どんな薬をどの様に飲んでいるか周知している。症状の観察も常に本人の自覚と共に聴取し把握。変更時も申し送り、変更ノートにても確認・伝達して情報の共有に努めている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) なるべく薬にたよらず食物、水分の制限された中で運動を促す心がけをしている。		透析日の排便対策・下剤常用・浣腸、排便の頻度の追跡調査。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) その人その人のやり方、タイミングを測り 声掛け～介助、確認に努めている。訪問歯科医から義歯装着の注意点などをアドバイスして頂き、口腔の清潔に心がけている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) それぞれの決められた水分制限に基き血液検査、体重の変化、むくみ、の出現にスタッフは注意している。低栄養時は、主治医・管理栄養士に指示を仰ぎ工夫に努めている。 (外部評価) 母体病院の厨房で調理された、腎臓病食、糖尿病食が届くようになっている。水分制限が必要な方の水分管理等も母体病院と連携して行っておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 特に院内外の勉強会、ミーティング、市の回覧などで情報の共有と周知徹底。予防に努めている。(ノロ・インフルエンザ・MRSA・肺炎・緑膿菌・肝炎など)		ほぼ100%のスタッフと利用者が予防接種を毎年受けている。(アレルギーのあるかた以外)

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 管理栄養士の協力もありこまめに食器・食材の衛生管理、調理法を学び、実践。キッチン周りの清潔、手洗いの徹底、賞味期限、消費期限をこまめにそれぞれのスタッフが声掛けあい協力している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 常に明るく出入りできる雰囲気と安全面も考慮し、マットの設置、開放的で、親しみやすくするために、草花の手入れも利用者さんや家族と工夫している。ベンチやいすを設置し安らげるスペースが在る。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 採光に留意し、臭いの元を断ち こまめにゴミは捨て換気に気をつけている。 寝具のクリーニング、ほこりを取り、騒音に配慮している。</p> <p>(外部評価) 居間には行事時の写真が飾られていた。テラスには椅子とテーブルを配し、利用者が植えられた朝顔が咲いていた。利用者や職員が飾り付けた七夕の飾りがあった。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 一人一人の利用者に居場所があり自由に共存している。プライバシーも保たれ居室でひとりにもなれる。静けさを楽しんだり、個々のポジションを確保できる。馴染みの利用者さん同士で長いずら掛けて井戸端会議もしばしば見られる。状況によりT や椅子の位置や角度、座布団など居心地いい工夫をしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使い慣れた椅子やTVや筆筒を置き、中にはベッドでなく畳の方もいる。普段着を着て本来の利用者さんの生活をして頂くために家族にも協力して頂いている。		
			(外部評価)		
			居室入り口には、それぞれに暖簾が掛けられており、好きな椅子を配したり、ベッドサイドにテーブルを置き、辞書や本を並べておられる方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気をこまめに行い外気温との差が $\pm 2 \sim 5$ 位に調節を心がけている。一人一人の利用者さんの体感温度も微妙にちがうため不快にならない様声かけをし利用者さんに耳を傾けている。トイレやオムツの悪臭には特に気をつけ ために捨て換気に注意している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			バリアフリーの設計と転倒予防の観点から自由に全盲の方も自立できる動線に 危険なものを置かない様に気をつけている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			その人に耳を傾け 共感し、落ち込んでいる時、失敗した時などもその人のプライドを傷つけない様その人に合わせ そっと見守ったりしてむやみに励ましたりしない様工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			四季折々の草花を場所を活かして利用者さんと協力して育てている。生活の中で自然に買い物や散歩に気軽に行けるように支援し、活動している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の生活の中でその人が何を望み何に困っているのかを知り、出来る限りその人の希望に添える様 スタッフ間で情報を共有し、意向を掴もうとしている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	リビング・戸外・ソファ・居室でもゆっくり話をしている。食事と一緒にして寄り添う介護が出来ている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者同士、また職員とも親身に共感できる安心感を保ちつつ、プライバシーをお互い尊重しあい本人のペースで生活できている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれ自分の好きな時間を持って頂くよう支援している。イベントや外出の際は普段みられない笑顔や和やかな表情をされている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎月何かしらの行事や外出があり、一人一人の要望に沿って、目的地を公平に決めてお出掛けしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	連携病院が隣接し、担当医・看護師・理学療法士、管理栄養士と緊密に情報交換を行い、健康管理、医療、安全面全てにおいて安心して暮らしていただいている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんの要望は公平な気持ちで接し可能な限り支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時に声掛けして 要望、意向について話す機会がある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族、友人が毎日の様に来られる方も居る。例年夏祭り、子供みこしの際は地域の方が気軽に来られる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている (自己 ②少しずつ増えている 評価) 3あまり増えていない 4全くいない	夏祭りや運営推進会議を通じて、地域との積極的な交流が深まりつつ有り、徐々に理 解者が増えている。
98	職員は、生き生きと働けている (自己 ①ほぼ全ての職員が 評価) 2職員の2/3くらいが 3職員の1/3くらいが 4ほとんどいない	協力し合って業務を遂行し、明るく声掛けあっている。それぞれが目標を持ち、計画 を立て個々が努力し元気に働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	利用者さんの希望をすべて満足させられる事は難しい。自由気ままとは行かない。利 用者さん自身の生活背景により個人差が大きい事を周知している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 ①ほぼ全ての家族等が 評価) 2家族等の2/3くらいが 3家族等の1/3くらいが 4ほとんどできていない	家族の要望はすぐに施設長・事務長に報告し対応できる体制が有る。個人的に聞くが 解決はみんなで取り組む。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

当施設は、人工透析をされている利用者さんばかりの医療重視のグループホームです。食事や外出など色々な制限があるなか、同一敷地内に病院がある安心
 感の反面、透析治療を受けているがゆえの辛さも共有することで仲間意識が芽生えています。スタッフは、利用者の方の尊厳を守り、自立支援のお手伝いを
 し、より深く広く地域と密着出来る様、日々利用者さんと共に歩んでおります。